

第7回（平成24年）
「大和郡山・金魚検定」

解 説

<分 野… 金魚 >

<難易度… 上級 >



大和郡山・金魚検定認定委員会

問題1

【正 答】 ① ヒロニシキ (弘錦)

【解 説】

ヒロニシキは津軽地方で飼育されていた地金魚で、金魚研究の大家である松井佳一博士が大正初期に当地を訪れたおり、この金魚の存在を知り世に公表して広く知られるようになった。本品種は青森県弘前市の宮本喜三郎によって作出され県下で飼育されていたが絶滅した。この金魚の体形は松井博士の示した標本写真による以外になく、体色は赤、更紗であったといわれている。弘前では金魚の種々の品種を交雑し、累代交配してツガルニシキの復元が試みられてきたが、その過程でヒロニシキ様の体形をした個体が生じている。

【文 献】

- 1) 松井 佳一：復刻版 科学と趣味から見た金魚の研究. 弘道閣, 東京, 2006, pp. 155.
- 2) 松井 佳一：金魚大鑑. 緑書房, 東京, 1972, pp. 28.
- 3) 五十嵐 孝夫：青森県下に於ける内水面利用としての金魚並びに鯉の養殖に就いて. 青森縣水産資源調査報告, 1, 238-239 (1950) .

問題2

【正 答】 ③ ナンキン (南京)

【解 説】

オオサカランチュウの色模様には細かな基準が設けられている。対鰭の胸鰭、腹鰭、臀鰭、および尾鰭が赤いものを「本六輪尾紅」といい、口、眼巢（眼窩部の周囲）、髭（房状になった鼻弁、鼻孔褶）、両顴（左右の鰓蓋）がいずれも赤いものを「頭道具揃」というが、「本国錦」とはこの「本六輪尾紅」と「頭道具揃」を兼ね備えた模様をいう。これはオオサカランチュウの基調の体色であり、ナンキンでも古くからこの色柄を基調としてきた。これに加えて胴部、あるいは胴部から尾部（尾筒）にかけて更紗・小豆更紗模様を備えたものはあでやかで好まれる。

【文 献】

- 1) 長沢兵次郎：金魚のすべて. カラーポケットガイド④, マリン企画, 東京, 1984, pp. 202 - 204.
- 2) 三好音次郎：金魚問答. 発行者 又間安二郎, 印刷者 本田恒市, 大阪, 1903, pp. 81.
- 3) いづもナンキン振興会：いづもナンキン審査基準, 色彩.

問題3

【正 答】 ④ 舞子

【解 説】

スエヒロニシキはブリストル朱文金のハート形の尾鰭を一層大きくし扇形に展開させたもので、これを支える尾柄（尾筒）を太く作り、頭を小さく体高を高く作っている。全長が16cm未満のものは、この金魚の最大の特徴である尾形がまだ未完の状態にあって、これを「舞子」と称している。全長が16cm以上に育つと尾鰭は扇形を呈すようになり、これを「扇魚」と称している。現在も固定化が進められている新しい金魚である。

【文 献】

緑書房編集部：金魚を愉しむ（月刊フィッシュマガジン2010年7月号別冊）．
緑書房，東京，2010，pp.72.

問題4

【正 答】 ④ アラタマノハナ（匳玉の華）

【解 説】

アラタマノハナ（匳玉の華）はオオサカランチュウをベースに静岡県の養魚家磯部静夫氏によって作出・命名された品種である。「匳玉」は古代からあった地名で、行政区画としては現在の静岡県浜松市浜北区の一地域に当たる。明治11年に匳玉郡が、また明治22年に匳玉村が発足したが、その後の郡市町村の移行・合併などによって匳玉郡・村は廃止となった。しかし、「匳玉」の地名は浜北区の地区名として残され、施設名（匳玉公民館）や校名（匳玉小学校・中学校）としても用いられている。これは「匳玉」が古より伝えられてきた地名であること、また磨かれていない玉の意味をもち「玉磨かざれば光なし」に通ずること、語の響きが美しいことなどによって当地の人々の心を捉えてきたことによるのであろう。

【文 献】

- 1) 磯部静夫：静岡県の地金魚を創り出すことを目標に．フィッシュマガジン，540，35-37. (2011) ．
- 2) 森島宏光：浜松市史 通史 下巻．大日本印刷，名古屋，1994，pp. 253-258，1037-1044.
- 3) 浜北市教育委員会：郷土浜北のあゆみ．浜北市，1978，pp. 192-193.

問題5

【正 答】 ③ 天青・天女・江戸茜・翠錦

【解 説】

「天青」は関東型アズマニシキをベースとする透明鱗性の金魚で、浅葱色が美しい。「天女」はトサキンとアズマニシキを掛け合わせて作られた透明鱗を有する白色の金魚で、同系の「翠錦」はモザイク透明鱗をもつ浅葱色の金魚である。また「江戸茜」はアルビノのリュウキンで、「茜」はその眼の色に由来する。「秋翠」、「藍衣」、「浅黄」、「孔雀」はいずれも錦鯉のよく知られた品種である。

【文 献】

- 1) 森 文俊, 杉野裕志, 佐藤昭弘, 後藤正生: 日本金魚大鑑 (金魚伝承別冊). 緑書房, 東京, 2007, pp. 102, 186, 199.
- 2) 前川建夫: 日本文化の華 錦鯉. 新日本教育図書, 東京, 2009, pp. 34-109.
- 3) 山崎外平: 美しい錦鯉. 新日本教育図書, 東京, 2004, pp. 49-101.
- 4) 徳田博之: コミック錦鯉物語. 新日本教育図書, 東京, 2007, pp. 2-24.

問題6

【正 答】 ② ランチュウ（蘭鋳）

【解 説】

金魚の第1～4脊椎骨は聴覚機能を担う小骨片（ウェバー氏骨片）となっている。脊椎骨数の計数に当たっては、この骨片を脊椎骨4個とし、その後の脊椎骨から尾部棒状骨までの個数を数えてこれに合する。下表にフナと金魚の脊椎骨数のデータをまとめた。

フナおよびキンギョの脊椎骨数 範囲（平均）

品 種	個体数	体 長	腹椎骨	尾椎骨	全脊椎骨
キンブナ	3	8.6-11.0	17-18(17.33)	13(13.00)	30-31(30.33)
ギンブナ	10	6.9-15.9	17-18(17.60)	13-14(13.70)	30-32(31.30)
ゲンゴロウブナ	8	6.0- 8.4	17-18(17.67)	11-14(13.38)	28-32(31.00)
ワキン(フナ尾)	8	7.2- 8.8	17-18(17.25)	12-14(13.00)	29-31(30.25)
ワキン(三つ尾)	8	4.8- 5.5	15-18(16.50)	12-14(13.00)	29-31(29.50)
シュブンキン	8	3.6- 9.5	17(17.00)	12-14(13.13)	29-31(30.13)
コメット	3	7.6- 9.5	16-18(17.00)	13(13.00)	29-31(30.00)
ジキン	10	3.5-12.8	15-18(16.50)	9-12(11.00)	25-29(27.50)
チョウテンガン	2		15-16(15.50)	13-14(13.50)	28-30(29.00)
アカデメキン	6	3.6- 4.4	10-15(15.00)	13-15(13.85)	28-30(28.85)
クロデメキン	10	2.9- 4.3	12-15(13.80)	11-14(12.60)	24-28(26.40)
サンショクデメキン	6	3.2- 3.6	13-15(13.83)	11-14(12.33)	24-28(26.16)
リュウキン	9	3.1- 9.4	12-17(13.56)	11-15(12.89)	25-29(26.45)
オランダシシガシラ	3	6.7- 7.3	13(13.00)	10-12(10.67)	23-25(23.67)
ナンキン	4		10-13(11.50)	10-12(10.75)	22-23(22.25)
ランチュウ	16	3.2- 6.9	12-14(12.38)	7-11(9.31)	19-23(21.69)

【文 献】

- 1) H. Asano and Y. Kubo: Variations of spinal curvature and vertebral number. Japanese Journal of Ichthyology, 19(4), 223-231(1972).
- 2) 渡辺正雄: 日本産フナとキンギョの骨学的変異と系統に関する研究. 魚類科学研究所, 19-20 (1996).
- 3) 鍋島祐司: キンギョ品種間の骨格比較, 脊柱・背鰭・尾鰭を構成する骨格について, 平成18年度近畿大学農学部水産学科卒業研究要旨集, 水産生物学研究室, 1 (2006), pp. 1.

問題7

【正 答】 ②

【解 説】

コイ科魚類は上顎・下顎共に歯がなく、喉の下咽頭骨に咽頭歯とよばれる歯があり、咽頭背面の咀嚼台そしやくとの間にかみ合わせ食物を咀嚼する。咽頭歯の形態は発生中に変化するが、稚魚期に達して種に特有な特徴が備わる。金魚の咽頭歯は選択肢②にみられるように1列に4本並ぶ。選択肢①、③、④の咽頭歯の図は、それぞれヤリタナゴ（1列、5本）、ニゴイ（3列、合計9本）、コイ（3列、合計5本）のものである。

【文 献】

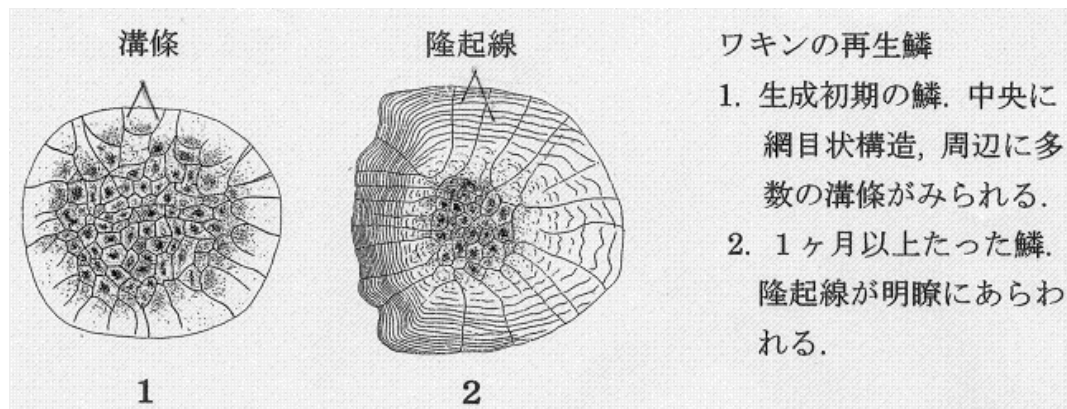
- 1) 石田陽子, 星 和人, 田中みか子, 監物新一, 坂井日出男, 小澤英浩, 河野正司, 江尻貞一: キンギョ咽頭歯の微細形態学的研究-マイクロCTを応用した観察法-. 新潟歯学会誌, 31(1), 15-19 (2001) .
- 2) 渡部正雄: 日本産フナとキンギョの骨学的変異と系統に関する研究. 魚類科学研究所, 東京, 1996, pp. 54-56, 130-131.
- 3) 中島経夫, 堀田善彦, 曾根萬理: コイ科魚類における咽頭歯の形態と咽頭骨の咬合運動についての比較形態的研究. 歯科基礎, 25, 463-470 (1983) .
- 4) 岩井保: 魚学入門. 恒星社厚生閣, 東京, 2005, pp. 94-97, 106-108.

問題8

【正 答】 ③ 鱗が抜け落ちたあとにできた再生途中の鱗

【解 説】

金魚の鱗は、事故で剥がれたり、体色を白くするために人工的に剥離すると、数日中に再生鱗が形成されはじめる。初期の鱗は網目状構造で占められ、周辺は溝條でとりまかれる。鱗の形成が進むと溝條が消失していき、隆起線が現れる。再生当初、円形であった鱗は45日ほど経つと金魚に特有な形状をとるようになる。



ワキンの再生鱗

1. 生成初期の鱗. 中央に網目状構造, 周辺に多数の溝條がみられる.
2. 1ヶ月以上たった鱗. 隆起線が明瞭にあらわれる.

【文 献】

- 1) 鈴木 亮：金魚に於ける再生鱗の形体の変遷. 動物学雑誌, 2(4-5), 192-195 (1952).
- 2) 上野紘一：形態. 金魚大鑑 (松井佳一編), 緑書房, 東京, 1972, pp. 7-8.

問題9

【正 答】 ④ 裏側の周辺部

【解 説】

ワキンやリュウキンの鱗は、裏側全体に虹色素胞が存在する。これに対して網透明鱗は鱗の裏側の周辺だけに虹色素胞が分布し、体表全体をみたときには網目のように見える。この鱗は松井佳一博士によってワキンからみいだされ、遺伝学的研究から普通鱗性、透明鱗性に対して劣性であることが明らかにされている。

【文 献】

- 1) 松井佳一：日本産金魚ノ遺伝学的研究, 第三報 金魚の透明鱗性ノ遺伝ニ就イテ. 水産講習所研究報告, 30 (1), 35-60 (1934) .
- 2) 梶島孝雄：体色の遺伝. 「金魚大鑑」(松井佳一監修), 緑書房, 東京, 1972, pp. 38-39.

問題10

【正 答】 ① 眼の網膜で黒色素が作られず、血管が赤く透ける。

【解 説】

アルビノ (albino) とは、メラニン色素をもたない白色や淡色化した個体をいう。多くは眼の色素も欠くので、網膜の血液の色が透けて見え、瞳孔が赤くなる。金魚の遺伝において普通体色はアルビノに対して優性で、黒眼と赤眼の個体を交雑して得た雑種第一代はすべて眼が黒くなり、雑種第二代目に黒眼の個体と赤眼の個体が分離して生じる。

【文 献】

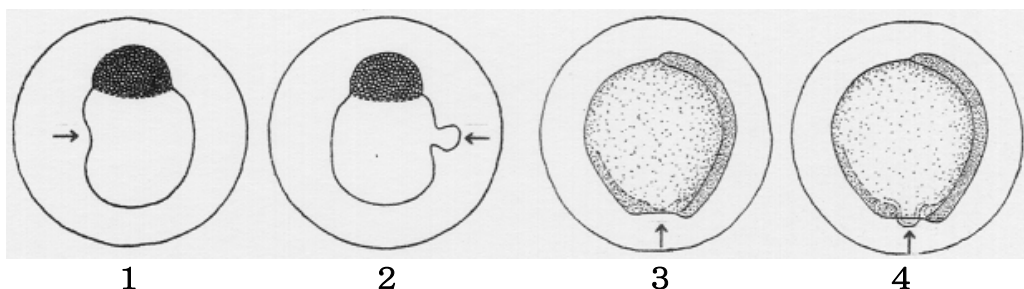
- 1) 梶島孝雄：体色の遺伝. 「金魚大鑑」(松井佳一編), 緑書房, 東京, 1972, pp. 39-40.
- 2) 松井佳一：ヒブナとテツギョ, 金魚との関係. 淡水魚, 2(1), 41- 44. (1976)
- 3) 緑書房編集部：金魚を愉しむ (月刊フィッシュマガジン2010年7月号別冊). 緑書房, 東京, 2010, pp. 76-77.

問題 1 1

【正 答】 ① 4細胞期～囊胚期（1.5～1.5時間）

【解 説】

律動性収縮運動（rhythmic movements）は、メダカ、マス、シラウオなど20種ほどの魚類の胚に観察されている。この運動がみられる胚の発生時期や胚の部位は魚種によって異なり、メダカでは胚盤葉が卵の1/3覆ったところから心臓の拍動が始まるまでの間続き、胚盤葉の胚体外域が収縮運動するが、金魚では卵割期から囊胚期後期にかけて続き、卵黄細胞質のみが収縮する。この運動による攪拌作用は卵黄吸収に役立ち、胚発生を促進させるものと考えられている。



金魚の胞胚期初期（1，2）と囊胚期原口閉鎖前（3，4）における律動性収縮運動。矢印は収縮運動部位。（文献1より引用）

【文 献】

- 1) T.Yamamoto:On the rhythmic movements of the egg of goldfish. Jour. Fac.Sci.Tokyo Imp.Univ.Sci.4, 275-285 (1934).
- 2) 影山哲男：発生初期の形態形成。「メダカの生物学」（江上信雄，山上健次郎，嶋昭紘編），恒星社厚生閣，東京，1990，pp.76-92.
- 3) キンギョ *Carassius auratus* の正常初期発生段階. 魚類学雑誌, 8 (1/2) , 20-28 (1960) ,

問題 1 2

【正 答】 ② 明治30年頃

【解 説】

東京の金魚養殖池は、商工業の発展や宅地化による埋立および養魚用水の悪化によって、都内の各地に移転を繰り返してきた。江戸時代に不忍池付近、入谷、根津などにあった養殖池は、明治に入って本所、深川に移り、その後は亀戸、大島、砂町方面に移っている。江戸川区での金魚養殖は明治30年頃に平井に6軒、小松川に1軒の金魚生産業者が移転してきたことに始まるといわれている。江戸川区も昭和45年頃には都市化が進み、水質の悪化、地価の高騰などにより金魚養殖にとって不適な地となり、養殖業者は千葉、埼玉、茨城などへ養魚池を移している。ちなみに選択肢にあげた大正12年頃は、関東大震災の復興と共に江戸川の水質も復活し盛んとなった時期で、昭和20年頃は第二次世界大戦後、江戸川区が全国有数の金魚生産地へと発展を遂げた時期に当たる。

【文 献】

- 1) 江戸川区教育委員会社会教育課：江戸川区と金魚. 江戸川区郷土資料室, 東京, 1992, pp. 10.
- 2) 江戸川区郷土資料室：金魚と江戸川区. 郷土資料室解説シートむかしの江戸川区, 5-8 (2006).
- 3) 堀口 英明：江戸川琉金の町. 「昭和30年・40年代の江戸川区, なつかしい青春の記憶」(村上 昌, 野島寿三郎監修), 三冬社, 東京, 2009, pp. 8.
- 4) 篠崎文化プラザ：金魚百景 江戸川区金魚の歩み. 第5回企画展示資料, 2009, pp. 8.

問題 1 3

【正 答】 ② スッポン

【解 説】

戦中および戦後の間もない時期は金魚を愛玩する余裕がなく、また、食糧不足を補うために内水面の有効利用が叫ばれ、水田や溜池には食用となる動物が養殖された。金魚池でのスッポン養殖もその一環といえる。スッポンを養殖するに当たっては池からの逃逸を防ぐため、壁面は地下30cmの深さまで掘り下げ、上部には内側に向けて返し板をつけ、特に四隅には三角形の広い返しを設けた。大和郡山市におけるスッポン養殖は昭和25年ごろまで続き、戦後の復興と共に金魚養殖と入れ替わっていった。

【文 献】

- 1) 梶 純夫：スッポン「養魚講座 第6巻 ドジョウ・スッポン・ヘラブナ・ブラックバス」（大島泰雄，稲葉伝三郎監修）．緑書房，東京，1979，pp. 204.
- 2) 野村 稔：スッポン．「淡水養殖技術」（野村 稔編）．恒星社恒星閣，東京，1982，pp. 317-318.

問題 1 4

	成 分	食 物
【正 答】 ③	脂 肪	ゆで卵の卵黄

【解 説】

脂肪は重要なエネルギー源であり、また体内で合成できない必須脂肪酸の補給に欠かせない。魚は変温動物であるから冬季には代謝速度が鈍り、逆に夏季には代謝が活発化してエネルギー要求量が高まる。このため一般に脂肪は冬季には無添加とし夏季に適量を添加する。ただ脂肪は変質しやすく、酸化した脂肪は内臓諸器官に病変を引き起こすので使用上注意を要する。

鶏卵は完全栄養食といわれ、卵の黄身は体成分とエネルギー供給のための格好の飼料となり夏季の餌に適する。

問題 15

	理由	穀物
【正 答】	① 消化をよくする。	麦
【解 説】		

大麦や小麦のデンプン質はカロリー源として重要で、また餌の粘着剤にもなる。デンプンの消化吸収は、生デンプンのベーター型と加熱されたアルファー型で異なり、後者はデンプン分子の結合状態が変わり消化吸収が格段によくなる。冬季の代謝活動が低下するときには消化不良を起こしやすく、煮熟した麦はこの時期の餌として有効である。穀物の煮餌は手間がかかるが安価で、丈夫で健康な金魚が育つといわれている。冬季の煮餌の給餌は一般に一週間から10日間隔で行われる。

【文 献】

- 1) 堀内篤次, 伊藤義廣: 金魚養殖の発達と回顧 (自費出版). 1995, pp. 34-36.

問題 16

【正 答】	④ 糞を排泄させ、輸送中の水質悪化を防ぐ。
【解 説】	

畜養池の水質にもよるが、一般に2、3日餌止めすると消化管内に残っていた餌は消化・排泄されてしまう。消化管をからにしておくことは、輸送中の排泄物による水の悪化を防ぎ、また魚同士の接触・圧迫による内臓の損傷を防ぐことができる。金魚を輸送するビニール袋には必要最小限の水を入れ多数の金魚が詰め込まれるので、「活けズ」とよばれるこの無給餌畜養は出荷前の処置として不可欠である。

【文 献】

- 1) 東京都水試温水魚研究部: 出荷と輸送. 「養魚講座第9巻 金魚」(大島泰雄, 稲葉伝三郎監修), 緑書房, 東京, 1976, pp. 207.
- 2) 松井佳一: キンギョ. 「養魚学各論」(川本信之編), 恒星社厚生閣, 東京, 1978, pp. 136.
- 3) 谷田専治, 島津忠秀: 水産増養殖用語辞典. 緑書房, 東京, 1975, pp. 5.

問題 17

【正 答】 ② サンシチソウ (三七草)

【解 説】

サンシチソウは中国原産のキク科の多年草で、江戸時代初期に薬用植物として渡来し野生化した。生薬名は三七。葉の汁は解毒・止血作用があり、虫さされの傷の治療にも効果がある。

この点から、サンシチソウは白点病の病害虫を直接的に殺滅できなくても、傷んだ皮膚の治療に役立ったと思われる。

『和漢三才図会』には「金魚がまさに死なんとするとき、この薬草のもみ汁を飲ますと生き返るとし、ゆえに魚池のそばに必ずこれを植える」とあるが、真偽のほどはわからない。選択肢にあげたヨモギは、乾燥葉を煎じると腹痛や止血の薬となり、葉の綿毛は灸治療用の「もぐさ」になる。ホオズキの根は鎮咳や利尿の煎じ薬として、またクワの乾燥した葉や根は高血圧の煎じ薬として用いられる。



サンシチソウ (三七草)

文献5)から引用

【文 献】

- 1) 伊藤康宏：金魚養玩草，「日本農書全集 第59巻」(佐藤常雄，徳永光俊，江藤彰彦編)，農山漁村文化協会，東京，1997，pp. 438-445.
- 2) 村上義威：金魚飼養に関する一古文献に就いて．水産研究誌，25(4)，18-25(1925)．
- 3) 伊藤一男：薬草カラー大事典，日本の薬用植物のすべて．主婦の友社，東京，1998，pp. 42, 623, 706, 735.
- 4) 清水建美：日本の帰化植物．平凡社，東京，2003，pp. 209.
- 5) 和田浩志，寺林 進，今藤健児：新訂原色牧野和漢薬草大図鑑．北隆館，東京，2002，pp. 561.

問題18

【正 答】 ④ キロドネラ病

【解 説】

キロドネラ病は繊毛虫類のキロドネラ・シプリナ(*Chilodonella cyprini*)の寄生によっておこる。本虫の増殖適温は5～10℃であり気温の低い春先に罹病しやすく、発病すると魚体は粘液の異常分泌により白濁し、症状が進むと皮膚が崩壊する。また病症が鰓に及ぶと呼吸困難に陥る。治療方法として過マンガン酸カリウムや市販薬グリーンFの薬浴が有効である。

尾腐れ病と穴あき病は細菌性の疾病で、前者はフレキシバクター・カラムナリス(*Flexibacter columnaris*)、後者はエロモナス・サルモニシダ(*Aeromonas salmonicida*)の感染による。転覆病は鰾の形態的機能的な異常に起因するが、平衡に係わる神経障害によっても引き起こされるといわれている。

【文 献】

- 1) 畑井喜司雄, 小川和夫: 新魚病図鑑. 緑書房, 東京, 2006, pp. 103.
- 2) 川田洋之助: 金魚の医・食・住. どうぶつ出版, 東京, 2004, pp. 125-136.
- 3) 江草周三: 魚病学辞典. 近代出版, 東京, 1982, pp. 90.

問題19

【正 答】 ① キンギョハナダイ

【解 説】

キンギョハナダイ(*Pseudanthias squamipinnis*)はハタ科に属する海水魚で、高知県柏島ではウミキンギョとよばれている。南日本の岩礁・サンゴ礁に生息し、インド洋や太平洋にも広く分布する。性決定が特異な魚として知られ雌性先熟型の性転換を行う。選択肢にあげたタイワンキンギョはゴクラクギョ科に属する淡水魚で、日本では沖縄島や沖永良部島に生息する。キンギョハタテやリュウキュウキンギョといった魚は実存しない。

【文 献】

- 1) 岡村収, 天岡邦夫: 山溪カラー名鑑 日本の海水魚. 山と溪谷社, 東京, 1997, pp. 254.
- 2) 安部宗明, 落合 明: 原色魚類検索図鑑Ⅱ. 北隆館, 東京, 1989, pp. 28.
- 3) 益田 一, 小林安雅: 日本産魚類生態大図鑑. 東海大学出版会, 東京, 1994, pp. 118.
- 4) 宮地伝三郎, 川那部浩哉, 水野信彦: 原色日本淡水魚類図鑑. 保育社, 東京, 1992, pp. 386-387.

問題20

【正 答】 ① 西遊記（中国の伝奇小説）

【解 説】

西遊記第49回「三蔵 災いあって水宅に沈み観音 難を救い魚籃を現す」に、水怪となった金魚の話が出てくる。設問にあげた部分の筋書きを示せば次のようになる。

「悟空らは、通天河の妖怪“靈感大王”によって水中に拉致された三蔵法師を救いだそうとするが、妙案が浮かばない。悟空は菩薩に助けを求める。菩薩は紫竹で竹籠を編み悟空と共に通天河に向かい、籠に腰紐を結び付けると通天河へ投げ入れた。そして、“死んだものは去れ、生きたものは掛かれ”と七へん唱えて籠を引き上げると籠の中に鱗をきらめかせた金魚が跳ねていた。この金魚はもともと菩薩の蓮池で飼われていたもので、日々経を聞き、技を磨いて通天河の妖怪になったのだ。水があふれた折に、池から逃げ出したらしい。このときの竹籠をもつ菩薩の姿が、今に伝わる魚籃観音像となった」。

ところで、魚籃観音像は国内に数十体みられるが、菩薩が手にする籠には鯉や鯛などが入っていて（一例を右に示す）、金魚は見当たらない。

西遊記の菩薩と金魚にまつわる話は、この伝奇の中で想像豊かに創作されたものであろう。



奥琵琶戸岩寺の魚籃観音菩薩像

【文 献】

- 1) 太田 辰夫, 鳥居 久靖: 中国古典文学大系 3 1, 西遊記 上. 平凡社, 東京, 1994, pp. 421-429.
- 2) 和田 武司, 山谷 弘之: 中国の古典文学 8, 西遊記下. さ・え・ら書房, 東京, 1994, pp. 89-128.
- 3) 奥びわ湖観光連盟: ≪世代山≫ 戸岩寺 魚籃観音菩薩. 奥びわ湖観音路パンフレット.

問題21

【正 答】 ③ 金魚が泳げるほど薄く割水された酒

【解 説】

昭和12年に日中戦争が、また昭和15年には第二次世界大戦が勃発し、戦時体制が強化されるなか、主食の米を確保するため酒の生産が抑制され、需要を満たすために酒販業者によって極度に割水された酒が出回るようになった。このような酒を関西では金魚が泳げるほど薄い酒という意味で「金魚酒」といい、関東では「水酒」といった。当時、酒の割水は違法ではなく、酒質を吟味して「玉をかかす」（割水する）ことは酒屋で一般的に行われていたが、行き過ぎた割水に酒販業者に対する非難が全国的に高まった。現行の清酒のアルコール濃度の規格は、このような時代背景のもとで生まれた。ともあれ、数ある淡水魚・観賞魚のなかから「金魚」がこの造語に用いられたことは、金魚が人の生活・文化に深く関わってきたことのあらわれといえる。

【文 献】

- 1) 秋山裕一：日本酒. 岩波新書334, 岩波書店, 東京, 2010, pp. 8-9.
- 2) 坂口謹一郎：日本の酒. 岩波新書, 東京, 2007, pp. 64-66.
- 3) 神崎宣武：酒の日本文化. 角川ソフィア文庫620, 角川学芸出版, 東京, 2006, pp. 224-229.
- 4) 鎌田毅：酒販昭和史. 酒販昭和史刊行委員会, 東京, 1985, pp. 106-110.
- 5) 最上恒夫：「金魚酒」が出現した時代. 酒販の友, 福島県南酒販株式会社, 5月号, 2-3, (2010) .

問題22

【正 答】 ④ 酒場の隅でマッカッカ

【解 説】

香田 晋の唄『酒場の金魚』は、阿久 悠作詞、三木たかし作曲による演歌で1998年に発売された。一番の歌詞は次の通り。

金魚 金魚・・・ 酒場の隅でマッカッカ

金魚 金魚・・・ 酒場の隅でマッカッカ

酒場の金魚 夜まで泳ぐ ひらひらと 眠りを忘れ

あいつがだます あの娘が泣いた

そんな話に聞きあきて 今夜もゆっくり宙返り

金魚が出てくる最近の歌謡曲には『金魚花火』（大塚 愛）、『夢を見ていた金魚』（矢野まき）、映画『魍魎の匣』の主題歌『金魚の箱』（東京事变）などがある。

【文 献】

全音出版部：全音歌謡曲全集47巻. 全音楽譜出版社, 東京, 1998, pp. 92.

問題23

【正 答】 ② 15カ国

【解 説】

JICAとは開発途上国に対して技術協力や資金供与を行い、その地域の発展に協力することを目的とした外務省所管の独立行政法人である。業務の一つとして開発途上国からの技術研修員の受け入れがあり、さまざまな国から研修員が来日している。第17回全国金魚すくい選手権大会の奈良県予選大会には、国際交流の一環として15カ国24名の研修員を招き、日本のユニークな遊技「金魚すくい」を楽しんでもらった。

【資 料】

- 1) 2011年8月12日付けプレスリリース「金魚すくいで国際交流」
独立行政法人国際協力機構（JICA）大阪国際センター
- 2) 2011年8月21日付け奈良新聞

問題24

【正 答】 ④ 南大工町

【解 説】

高齢者金魚すくい選手権大会は、全国金魚すくい選手権大会の雰囲気をお年寄りにも味わってもらおうと大和郡山ロータリークラブが社会貢献活動の一環として企画し、毎年開催しているものである。大会には、同園や近隣の高齢者施設利用者や地域のお年寄りらが参加した。

【資 料】

- 2011年9月26日付け奈良新聞

問題25

【正 答】 ③ イチジク

【解 説】

出荷量で県内一を誇る大和郡山市片桐地区の特産品であるイチジクを使った焼き菓子「一果～ichika～こおりやまさんちの金魚」が昨年7月から市内朝日町の洋菓子店から発売された。片桐産イチジクを丸ごと使ったジャムを焼いたメレンゲ生地で挟んだマカロン風の菓子は、かわいい金魚の形をした大と、大和茶などを生地に練りこんだ小の2種類あり、それぞれ違った食感を楽しめる。この新商品開発は一昨年続く第2弾で市による農商工連携事業への取り組みの成果のひとつ。